

活動概要

西宮市民生・児童委員協議会と共に、甲子園駅前で年1回オレンジネット（オレンジリボン運動）の活動を通じて、子ども虐待のない基盤づくりを目指しています。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています（特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワークHPより）。本活動は、西宮市地域の皆さまと一緒に児童虐待防止に関する活動を行っています。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	学生によるオレンジリボン運動
対象となる地域・企業等	西宮市（西宮市役所、西宮市社会福祉協議会、西宮市民生・児童委員会）など
活動学生（ゼミ・学年等）	堀ゼミ（3年生または4年生）
連携時期	秋ごろ
学外への広報方法	甲子園駅前での広報活動
連携内容	西宮市民生・児童委員協議会と共に、甲子園駅前での広報活動を行う（年1回）。その準備段階として、文化祭において学生への啓発活動を行っている。
成果	厚生労働省HP： http://www.orangeribbon.jp/info/npo/2016/03/post-261.php

活動内容PR（活動の様子・参加者の声等）

文化祭では、オレンジリボンの成り立ちや当事者の声を紹介するポスターを作成しました。その後、甲子園駅周辺に堀ゼミメンバーが街頭に立ち、オレンジリボンに関する啓発活動を実施しました。当日は、西宮市民生委員・児童委員、西宮市役所、甲子園警察署の皆さまとともに、活動を行いました。学生参加者からの声としては、児童虐待防止活動は、まだまだ認知度が少なく、一人でも多くの人々が関心を持ってもらえるよう、継続した啓発が重要ではないかというものが出ていました。

